

# ほけんだより

<号外>

愛知県立愛知総合工科高校保健部

(平成30年5月14日発行)

麻しんに注意!

現在、沖縄県では広範囲で麻しん（はしか）が流行しています。愛知県では、4月11日に沖縄旅行帰りの10代男性が麻しんを発症しました。その後、愛知県衛生研究所（2018.5.2現在発表）によると、県内で15例の麻しん患者が報告されています。有効な予防法はワクチン接種しかありません。確実に免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。麻しんの罹患歴（かかったことがある）や予防接種歴（2回受けた）が明かでない場合は、予防接種を検討してください。

★ 本校の予防接種状況 (人)

|     | 不明 | 未接種 | 1回のみ | 計   |
|-----|----|-----|------|-----|
| 1年生 | 20 | 8   | 108  | 136 |
| 2年生 | 20 | 10  | 114  | 144 |
| 3年生 | 5  | 8   | 114  | 127 |
| 計   | 45 | 26  | 336  | 407 |



## ●麻しん（はしか）とは

|      |   |
|------|---|
| 主な症状 | 38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。その後、多くは7～10日で症状が回復します。肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発生すると言われています。                                     |
| 感染経路 | 空気感染※、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、感染する期間は、発症の1日前から解熱後3日頃までとされています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。<br>※麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下と言われています。 |
| 潜伏期間 | 約10日～12日間   |
| 治療法  | 特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。  |
| 予防方法 | 麻しんは感染力が非常に強く、手洗い、マスクのみで予防はできないため、麻しんの予防接種が最も有効です。海外渡航、沖縄旅行を計画している方、麻しんのワクチンを2回接種していない方等は、予防接種を検討することをお勧めします。   |

## ●麻しんが疑われる場合について

麻しん患者と接触した場合は、発病までの期間を考慮し、接触後最大21日間の健康観察が必要です。発熱、発疹等の症状から「麻しん」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡の上、速やかに受診してください。また、受診の際は、周囲の方へ感染を上げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。心配なこと等ありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

※麻しんは出席停止になります。

出席停止期間：学校保健安全法に基づき、解熱後3日を経過するまで登校できません。

登校する際には「感染症治療報告書」（HP掲載）を記入し、麻しんであったことがわかる書類（薬の説明書、医療費明細書等の写し）をつけて、担任の先生に提出してください。